

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# 日立半導体技術情報

〒100-0004  
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号  
 (日本ビル)  
 TEL (03)5201-5022 (ダイヤルイン)  
 株式会社 日立製作所 半導体グループ

製品分類	開発環境		発行番号	TN-CSX-037A		
題名	SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.6.0B 不具合のご連絡		情報分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	SH-1,SH-2,SH-2E,SH2-DSP, SH-3,SH3-DSP,SH-4	対象ロット等	関連資料	Rev.	有効期限	
		全ロット		第1版	永年	

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.6.0B に別紙に示す不具合があります。

次に示す製品を御使用のお客様につきましては周知願います。

Windows 版 SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ (型名: P0700CAS6-MWR)  
 SPARC 版 SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ (型名: P0700CAS6-SLR)  
 HP9000 版 SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ (型名: P0700CAS6-H7R)

の Ver.6.0、Ver.6.0R1、Ver.6.0A、Ver.6.0AR2 をご購入され、パッチで Ver.6.0B へリビジョンアップされたお客様

なお、Ver.6.0B のパッチ配布は中止しました。

本不具合については対策し、Ver.6.0C としてリリースいたします。(6月リリース予定)

添付 : P0700CAS6-020405J

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.6.0B 不具合内容

## SuperH RISC engine C/C++ コンパイラ Ver.6.0B 不具合内容

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver.6.0B には以下の不具合があります。該当する場合は、下記回避方法で回避していただくか、Ver.6.0A をご使用いただくようお願いします。

### 1. レジスタの回復順不正

#### 【内容】

CPU=SH2E または SH4 指定時、関数の末尾で他の関数を呼び出しているとき、レジスタの回復順が不正になる場合がある。

#### 【発生条件】

以下の条件をすべて満たす場合、発生することがあります。

- (1) optimize=1 を指定している。
- (2) CPU に SH2E/SH4 のいずれかを指定している。
- (3) 関数の末尾で他の関数を呼び出している。
- (4) 浮動小数点レジスタの退避/回復コードがある。
- (5) 当該関数内に上記(3)以外の関数(実行時ルーチンを含む)呼び出しがある。

#### 【回避方法】

optimize=0 を指定する。

### 2. PR レジスタ割付不正

#### 【内容】

CPU=SH2E または SH4 指定時、関数のレジスタ退避/回復命令が PR レジスタと FPU レジスタのみの場合、オブジェクト不正になる場合がある。

#### 【発生条件】

以下の条件をすべて満たす場合、発生することがあります。

- (1) optimize=1 を指定している。
- (2) CPU に SH2E/SH4 のいずれかを指定している。
- (3) 退避/回復するレジスタが PR 及び FPU レジスタのみである。
- (4) 当該関数を #pragma interrupt 指定していない。

#### 【回避方法】

optimize=0 を指定する。

### 3. pic=1 指定時のリンク時内部エラー

#### 【内容】

pic=1 指定時に外部定義関数を呼び出すプログラムをコンパイルすると、リンク時に内部エラーになる。

#### 【発生条件】

以下の条件をすべて満たす場合、発生することがあります。

- (1) CPU に SH1 以外を指定している。
- (2) pic=1 を指定している。
- (3) プログラム上で外部定義関数が呼び出されている。

#### 【回避方法】

pic=1 を指定しない(最適化リンケージエディタの ROM オプションを使用する)。

< リンク時オプション例 >

```
rom=P=R
```

```
start=P/100,R/8000
```

P セクションと同サイズの R セクションを確保し、P セクション内定義シンボルを R セクション上のアドレスでリロケーションします。

Ver.6.0B から Ver.6.0A への戻し方

#### (1) PC 版をご使用の場合

- (a) Ver.6.0A, Ver.6.0Ar1, Ver.6.0Ar2 をご購入の方

Ver.6.0A を再インストールする。

- (b) Ver.6.0 をご購入の方

6.0A のフォルダ("Hew インストールディレクリ"¥Tools¥Hitachi¥Sh¥6\_0\_a) を削除した後、Ver.6.0A のパッチを当てる。

#### (2) UNIX 版をご使用の場合

Ver.6.0A を再インストールする。